

報道機関各位

青森県健康福祉部保健衛生課長

食中毒の発生について

1 概 要

- (1) 令和 5 年 9 月 2 7 日（水）午前 9 時 2 0 分頃、西北地域県民局地域健康福祉部保健総室（五所川原保健所）に管内の医療機関から、「キノコによる食中毒が疑われる患者が入院している。」との連絡があった。
- (2) 同地域県民局の調査の結果、患者は 9 月 2 2 日（金）に自宅近くの立木の根本付近で採取されたキノコを 9 月 2 3 日（土）の夕食に喫食し、同日深夜から下痢、著しい発汗及び嘔吐を呈したため、9 月 2 6 日（火）に医療機関を受診していた。また、同居家族 2 名も当該キノコを喫食し、下痢等を呈していたが、すでに回復していたことが判明した。
- (3) 同地域県民局では、患者らが食べたとするキノコが有毒のアセタケ属キノコ（コブアセタケ類似種）と判断されること、患者らの症状がアセタケ属キノコの有毒成分によるものと一致すること及び医師の届出があったことから食中毒と断定した。

2 発生年月日 令和 5 年 9 月 2 3 日（土）

3 喫食者数 3 名

4 患者数 3 名（男性 2 名（70 歳代、50 歳代）、女性 1 名（70 歳代））
*入院している患者（70 歳代男性）は快方に向かっている。
*その他の 2 名の患者は回復している。

5 主な症状 下痢、著しい発汗、嘔吐

6 原因施設 家庭

7 原因食品 キノコのみそ汁

8 病因物質 植物性自然毒（アセタケ属キノコ（コブアセタケ類似種））

報道機関用提供資料 発表 No. 5-3	
担当課・担当者	保健衛生課 食品衛生グループ 担当者 横山総括主幹
電話番号	内線 6273/6274 直通 017-734-9214
報道監	健康福祉部 若松次長（内線6202）

<参考>

1 食中毒発生状況

(令和5年9月28日現在)

		発生件数	患者数
令和 5年1月～	令和 5年 9月28日	3件	45名
令和 4年1月～	令和 4年 9月28日	3件	14名
令和 4年1月～	令和 4年12月 末日	3件	14名

本年の発生件数、患者数は、本件を含む。

2 アセタケ属キノコとは？

- ・アセタケ属のキノコは一般に小形で、しばしばカサの表面が放射状に裂けたり鱗片におおわれるものが多く、カサ裏のヒダが茶色又は褐色で、柄に明瞭なつばがないことが特徴であるが、種類が非常に多く正確に判別することが難しい。
- ・アセタケ属のキノコには有毒成分を含むものが多く知られている。
- ・有毒なアセタケ属のキノコを食べると、30分～1時間程で嘔吐、下痢、発汗などの中毒症状が現れる。
- ・青森県内では一般的にみられるキノコであり、雑木林や山林など、どこにでも発生する可能性がある。

<県民への呼びかけをお願いします>

毒キノコによる食中毒の発生を防止するため、次のことに注意してください。

食用と確実に判断できないキノコは

- ①採らない ②食べない ③人にあげない ④販売しない**

- ① キノコの鑑定には専門的な知識が必要です。
「・・・に似ている。」「たぶん・・・だろう。」という素人鑑定はしないこと。
- ② 毎年、同じ時期に同じ場所に生えていても、食用に類似した毒キノコが混生していることがあるので十分注意すること。
- ③ 見分け方等に関する言い伝えは、根拠はないので信用しないこと。
(「虫が食べた跡のあるキノコは食べてもよい」など)

<本県での毒キノコによる食中毒発生状況>

年	発生日	種類	患者数	備考
平成23年	9月28日	ツキヨタケ	2名	
	10月 5日	イボテングタケ (推定)	1名	
平成24年	10月28日	ツキヨタケ	4名	
	10月28日	ツキヨタケ	1名	
平成27年	9月17日	ドクツルタケ	1名	
平成28年	9月30日	カキシメジ	2名	
令和元年	10月27日	カキシメジ	2名	八戸市発生
令和2年	10月14日	ツキヨタケ	1名	
令和5年	9月23日	アセタケ属キノコ (コブアセタケ類似種)	3名	(本件)

(※青森市及び八戸市発生分を含む。)